

アイエスオート通信

発行所 アイエスオート
岐阜市今嶺4-8-9
第038号 2020年9月発行
フリーダイヤル 0120-668-999

有限会社 アイエスオート

会員制おクルマ 相談窓口とは？

クルマコンサルタントがあなたのカーライフを守ります!!

今回の記事の
ダイジェスト
版を、YouTube

Tubeにて。
下記のQRコー
ドから配信し

てい
まい



アイエスオート通信 38号
— YouTube

こんにちは、おクルマコン
サルタントの伊藤です。
私が8年ほど前から所属し
ている異業種交流会で知り
合ったAさんから8月の始
め頃お電話がありました。
以前からAさんとはクルマ
に関する話題が多く、フル
クスワーゲンゴルフのGT
Iの乗るのが夢だとおっしゃ
ていました。が今回は奥様が
乗られていたのが、菱のデ
カで、件でした。
「Aさん、どうされました
か？」と私が尋ねますと半
年ほど前、クルマを買って
えるか検討して、たけど
コロナウイルスが騒がれて
したので、暫く様子見て
たので、そのまま乗って
たそうです。
「それならガソリンスタンド
に行ったら、Aさんこのク
ルマ車検切れてますよ」
と、言われ、新車購入時
から、すぐに電話をした
そうです。
「妻の乗っているデカだ
け、今日ガソリンスタンド
に行ったら車検が切れて
いることが分かったの？」
と、苦情を言いました。



平成23年モデルの○菱デカD:5

するとディーラーの担当者
は、「以前買い替えるかどう
か検討されていたので、A
さんからの連絡をお待ちし
ていました。」
しかし連絡がないので、つ
きり他社で買い替えたか車
検を受けられたか、思ってい
ました。」と言われたので
す。
「そう言われたAさんも確
かにそれなら仕方ないかと思
い、その正規ディーラーに
○カを入庫しました。
その後、担当者から車検の
見積額を聞いて、すぐに私に
相談をしたとのことでした。
その理由は、正規ディーラー
の見積額が36万円だった
からです。
私はAさんに車検の見積書

を見せてくださいと伝えラ
インで送ってもらいました。
知らない、と損をする
自動車整備業の実態!!

Aさんのクルマは平成23年
○菱デカD5で走行距離
が12万9千キロの5回目の
車検ですが、この正規ディ
ラーには24回目の入庫で
した。
そこで私はAさんの車検内
容についての見積り診断の
ポイントを追加整備と交換
部品にあると判断しました。
これらが全部で54項目あ
りましたが、この中で何が
どのような意味があるのか、
何の追加整備で部品交
換する必要があるのかを一
つ一つ検証しました。
まず始めに抑えておきたい
のが車検というものは、保
安基準と定期点検の二つで
構成されています。

- ☆車検とは二つの構成
- ①保安基準【罰則有り】
不適合車は法的に使用
不可
- ②定期点検【罰則無し】
不具合があっても使用
者責任で使用可能

保安基準とは、車検合格の
検査内容に沿った基準です
が、不具合や損傷している箇
所があると不合格となり、法
律上で使用出来ません。
例えばヘッドライトやウイ
ンカーのレンズが割れて

不点灯の場合やタイヤの溝が少ない場合、ブレーキが正常に利くかなどクルマが走行するにあたり最低限安全に乗れるかどうかの項目です。Aさんのデ○カは、この保安基準を満たさない必須の追加整備と部品交換は6項目ありました。

次に定期点検の内容です。こちらは車検の保安基準では検査しない消耗部品の点検でクルマの使用責任の項目です。

今後クルマを乗るために交換しないといけないですよと言の意味で例えばエンジンオイルやバッテリーやブレーキパッドなどに当たります。車検の見積り診断ではこの定期点検の追加整備と交換部品の見極めが重要となります。

車検に於いて重要な二つの見極めポイントとは？

その定期点検の追加整備と交換部品の見極めポイントは二つあります。

一つ目はその消耗部品の交換時期が今すぐなのかどうかの見極めです。

具体的には国産・輸入車問わず日本国内の正規ディーラーでは予防整備という考え方を基に消耗部品は所定の時期で定期交換するという考え方で

この様な定期交換部品は全部で34項目あり、この項目を精査していくと必須の項目が22項目で残りの12項目は今回の車検で交換の必要性があるかどうか疑わしい項目でした。

その一つがブレーキ関係（7年定期交換部品）という内容です。

ブレーキ整備によくあるブレーキパッドは消耗部品として殆どのクルマに付いています。ブレーキパッドは新品で10ミリ〜12ミリありブレーキを掛けると少しづつ減っていきます。

輸入車のホイールが汚れているのはブレーキパッドのすり減ったダスト（粉）が出る為でブレーキパッドが無くなる為とブレーキが利かなくなりクルマが止まらなくなるのでとても重要な部品です。

だからこそ予防整備として今回のAさんの依頼した正規ディーラーでは定期交換部品としていますがこれが過剰すぎる可能性があります。



定期交換部品のブレーキパッド

本来のブレーキパッドの交換時期は残量が3分の1から半分程度が交換時期です。また走行距離をたくさん走る

方と週末に数十キロしか乗らない人では次の車検迄の使用頻度が違うのでブレーキパッドの減り具合も違ってきます。しかしそんな使用頻度や走行事情は一切考えずブレーキパッド、ブレーキホース、ゴム系パッキンのオーバードホール（総分解整備交換）を定期交換部品としていました。

本来であれば前後左右のブレーキの利き具合の点検と分解点検をして疑わしい箇所や損傷があれば部品交換するものでその摩耗状態や劣化状態と今後の使用頻度を想定して今すぐ交換なのか？一年後なのか？

今回の車検まで持つのか？交換すべき時期の判断とお客様にクルマの買い替え時期はどう考えているのかを質問すべきです。

本当に必要な部品交換や整備なのか判断する!!

そしてもう一つの見極めポイントはその追加整備と部品交換が本当に必要で適切かどうかです。

不要の物を進めているとまでは言いませんがお客様がその整備内容を理解しているかどうかです。

例えば今回のAさんの場合「エンジン吸気系洗浄作業」と「下回り防錆塗装・塩害シャワーシコート」という項目がありました。

「エンジン吸気系洗浄作業」とはエンジン内部のカーボンやスラッジを取り除く作業でエンジンの吹き上がり良くなり走りの向上や燃費向上になるものです。

また「下回り防錆塗装・塩害シャワーシコート」とは雪の多い所や海岸沿いをよく走る方向けの下回りのコーティング施工です。

愛知県一宮市に住んでいるAさんの奥さんが乗っているクルマに必要な整備であったかどうか、その整備内容と必要性の説明をして提案していたかどうか問題だと思いました。

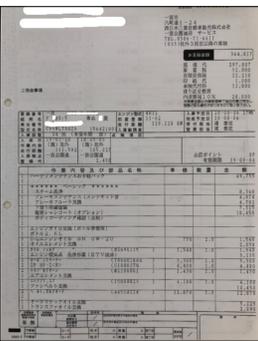
それによってディーラーの担当者や価格交渉をすることが出来ました。

クルマというのはどんどん進化していますし横文字の専門用語がとて多いため素人には判りにくいのが特徴です。

ディーラーの担当者は専門用語を使い部品交換や各種サービスを勧めてきます。

今回は、たまたまAさんの事例でしたが以前も別のお客さんの奥さんがいつも出しているディーラーの車検請求書を見たことがありますが、やはり今回のAさんとよく似た内容でした。

今までの疑いもなくお金を払っている方は多いと思います。



36万円の車検見積書

ディーラー担当者との交渉術をアドバイス!!

今回のAさんの車検見積診断は私は現車のクルマをみていません。

見積書を基にAさんに各項目の確認すべき内容のメモを取って貰いました。

一つ一つの交換項目に対して消耗部品の状態や何故交換するのかをディーラーのメカニックに質問をして貰いました。

そしてAさんにはある程度はメカニックと対等に話せるポイントをお伝えしました。

私は今から27年前に自動車業界に入りました。

今でこそ自動車整備や新車及び中古車の販売、損害保険、関係省庁の横の繋がりや専門知識もそれなりにはあると思います。

しかし最初は異業種からきたので知り合いは居ない、自動車整備の資格も無い、専門知識も殆ど無いところからのスタートでした。

当然、自動車業界内でのやり取りでは専門用語にとても苦労しましたし高い授業料を払って学びました。

だからこそ皆さんが車検の事前見積もりなどで、担当者から交換や作業の質問されてよく分からずにお金を支払っているのが経験上身に染みて理解出来ます。

何故、おクルマ相談窓口なのか？

「おクルマ相談窓口」はクルマのセカンドオペニオンです。クルマに関することでしたらどんなことでも客観的に相談出来る窓口としています。

皆さんがクルマのことで知らない事や判断できない事で損をしないことを目的としています。

それを「会員」の方にのみ行っているサービスです。

結局は、「アイエスオートに車検を出して欲しいからじゃないの？」

と思われる方も居るかもしれませんがそうではありません。

当店は中古車の販売とクルマを購入された方のアフターメンテナンスに特化しています。

また今回のAさんも相談のみで、ディーラーで車検をしました。

本日に相談だけでも良いです。私たちは自動車業界が素人に対して余りにも判りにくいので「クルマ生活のお守り」になれればと思っています。

アイエスオート通信も自動車業界の本質を知ってもらおうことを目的に発行しています。

皆さんも車検をする時には十分な説明を受けて納得した上で依頼するように注意してください。

もしご自分で判断が出来ないようでしたら「アイエスオート会員」に入会してください。

2年間5,500円でお守りいたします。